

第1回 文化会館整備検討委員会議事録（概要）

日時：平成23年6月1日（水） 13時30分

場所：市役所3階 議会委員会室

〔出席者〕

高谷時彦委員 樋渡美智子委員 佐藤進委員 奥井厚委員 山田登委員
前田勝委員 菅原一浩委員 山崎誠助委員 小林功委員 渡部巖委員
大久保紀子委員 柿崎泰裕委員 齋藤瑞穂委員 三浦譲委員 村山智昭委員

市長 総務部長 建設部長 財政課長 企画調整課長 都市計画課長 建築課長
教育長 教育次長 文化主幹 芸術文化主査 芸術文化係長

1. 開 会（文化主幹）
2. あいさつ（市長）
3. 委員紹介（自己紹介）
4. 委員長選出（文化主幹）

委員長 山田登委員 委員長代理 樋渡美智子委員

5. 報告事項

芸文主査：資料3により市内での検討結果について説明

委員：以前、史跡の関係で現在地には建設できないらしいという話があったが、本当に建設可能なのか。

文化主幹：現文化会館と青年センターの敷地については、藩校時代の矢場跡であるが、現文化会館、青年センター、体育館等大型の建物が建設され開発が行われたという歴史経過がある。旧体育館解体の際にも調査したが特に遺構はなかった。場所の検討にあたり関係機関に相談し、矢場跡の確認調査をすれば建設できるものと指導をいただき、この場所を候補地として検討した。

委員：何度か中心市街地という言葉が出ているが、中心市街地の範囲とは。

文化主幹：鶴岡の駅前から銀座、公園の周辺など。旧鶴岡市の市街地の中心部エリアを中心市街地と考えている。

委員：時代は流れ、中心市街地の範囲は広がってきていると思うが、これからの将来を考えたとき、もっと広げようとは思わないのか。

都計課長：鶴岡市はこれまで全国に先駆け、市街地の活性化に取り組んできており、様々な公共施設を中心市街地に集積する施策を進めてきたので、ご理解願いたい。

- 委員 : 建設場所を先に決定して進むやり方に疑問を感じる。有識者や、地域の人からの意見を聴き、合併地域のことを考えて、総合的な判断で進めなければならない。
- 教育長 : 場所の選定については、3月議会において、今年度早い段階で市の方針を決定し、検討委員会開催前に公表すると説明している。
- 委員長 : 場所のことにだけ時間をかけているわけにはいかない。
- 委員 : 場所のことは検討委員会に議論を付議されたものではない。
- 委員 : 駐車場からの南北線（東駐車場から文化会館まで）、道路整備の計画はあるか。周辺交差点の渋滞についての対策は。
- 都計課長 : 公園前の道路は、県管理の道路であり県で基本的な設計は準備している。合同庁舎に入居予定である検察が移転したら準備に入る予定である。
- 文化主幹 : 周辺交差点の車の渋滞への対策については、これから基本計画を検討していくなかで建物の配置を含め、敷地計画と併せて検討したい。
- 委員 : 危険なので歩道の整備をしたほうがよい。
- 委員 : 青年センターの裏側の駐車場部分は、文化会館の敷地として使えるのか。
- 文化主幹 : 現在は商工会議所が市から土地を借りて駐車場として使っている。今後相手方と調整し、敷地利用について検討していきたい。
- 委員 : 文化会館の中に、売店や食堂が入っていたらいいのではないか。商工会議所と一体化して考えられないか。
- 委員 : 現状は道路アクセスがよくないし混み合うので、商工会館と産業会館の土地の活用に関して、皆様からご意見を頂戴したい。
- 委員 : 現在地に建設することになると二年半の休館はやむを得ないということだが、その間に行われる成人式などの代替施設の目安は立っているのか。
- 文化主幹 : 小真木原総合体育館、中央公民館や周辺地域のホールなどが考えられる。今後利用者の皆様と話し合い、調整したい。
- 委員 : 現在の場所は、景観の観点からみても手詰まり感が否めない。場所についてはもう一度見直してほしい。
- 教育長 : 議会等で何度もご意見をいただき、庁内の検討委員会で真剣に考えてきて、3月議会で場所については市において決定するとした。合併特例債の期間を考えても、この場所でないとな建物解体するにも、特例債を使えないという問題もでてくる。ご理解をいただきたい。
- 委員 : 庁内の検討委員会の中で、商工会議所の敷地については話題にならなかったのか。
- 教育長 : 会議の中では話題には上らなかった。商工会議所との一体化にむけてどうするか、相談していかなければならない。
- 委員 : 建物の位置を考えるにあたっては、商工会館の将来的な建て替え、内川の役割、北

側の消防署の移転、駐車場の位置など周辺を一体的に考える広い視点、自由な議論が必要。

文化主幹：現在の文化会館青年センター敷地、駐車場を一体的に考えた中で、どういった利用計画がベストか、ご意見をいただきながらまとめていきたい。

委員：市長の方針を受け、内容や機能規模について検討するのが私たちの役目である。

委員長：商工会議所の敷地について含めて考えることが可能なのか。

総務部長：商工会議所が移転するような場合には、全体の土地利用構想が必要であると考えている。

委員：建設場所については決定なのか。

教育長：市の総合計画でも中心市街地に建てることを議会へ説明し、承認をいただいている。場所の選定については、市で決めさせていただくと説明し、ご理解を得ているものと思っているので、決定したと考えている。

委員長：市議会でも承認されていることなので、土地の問題は動かない。今日報告された中で考えていくということになる。ご理解いただきたい。

～休憩～

6. 議事

(1) 委員会の運営について

芸文主査：資料4により説明

委員一同：承認

(2) 文化会館整備の基本的な考え方

芸文主査：資料5により説明

委員：(文化会館整備の基本的な考え方)案とあるが、これはこれから時間をかけてつくるのか。

芸文主査：次回は視察予定であるが、その後の3回目の検討委員会の中である程度まとめていきたい。

委員：県第二の都市である鶴岡が、庄内であるべきものを作るということも考えて行かなければならないと思う。

委員：新文化会館と表現されているところと、文化会館とされているところがあるが、統一したほうがいいのでは。

文化主幹：「新」をとって、「文化会館」で統一したい。

委員：青年センターと文化会館が今後一つの建物の中に入ることを前提とした基本方針なのか。

文化主幹：青年センターの機能は中央公民館機能の中に位置づけする方向で検討していく。この委員会では文化会館の機能について検討していただきたい。

委員：整備の基本方針の（7）都市景観に配慮した施設とあるが、周辺の都市計画はどのように考えているか。

都計課長：大規模な建築物については色に規制がある。各プロジェクトの中で、周辺にマッチした建築の思想を持っていただくようお願いをしている。

委員：空間、視界についてはどうか。

都計課長：鶴岡のまちは道路を山に向かって構築しているという特徴がある。文化会館の設計についても配慮し、周辺にマッチした建物にしていきたい。

委員：緑、水、山河をいかに生かすかが、文化都市のゆえんである。そのシンボリックな位置に文化会館があるというふうにしてほしい。

委員：この地方のゆかりの音楽家の展示室などを設けることはできないか。

文化主幹：ご意見をいただきながら検討していきたい。

委員：施設プログラム（座席数ほか練習室・リハ室の数や大きさ等）を最終成果物とするのか。委員会ではどこまで検討していくのか。

文化主幹：基本計画のなかには、施設の規模、諸室の構成等も整理したい。専門コンサルの支援、専門委員会や利用者懇談会等からもご意見をいただいて、事務局で案をお示ししながら、皆様から総合的なご意見をお聞きしてまとめた。

委員：敷地が狭いので、早い段階で情報をこの場に出していただき、練習室の充実や、フライタワーの位置などについて議論をするのが望ましい。

文化主幹：ここで先に、資料7基本計画策定スケジュール案を説明。

基本計画の検討内容・項目について、今年度いっぱいでもとめたいと考えている。

委員：庄内のホールという意識が入れられるのであれば、ある程度大きなコンサートがどの程度の収容人数であれば興行が成り立つのか資料を準備していただきたい。

収容人数 **1000** 人は現実的だが、それで本当に十分なのか検討してもいいと思う。

文化主幹：情報収集して準備する。

委員長：建物ができてからの維持管理、利用度等様々な問題を含めながらどうあればいいか議論していくという風になると思う。

委員：この場所で、クラシックコンサートで一流の人を呼ぶにはどのくらいの席数がいいのかといったことがわかるか。

文化主幹：今よりも相当大きい規模となると、それだけランニングコストもかかる。現在の想定範囲としてそれほど大きいホールという考え方はない。

委員：クラシックの場合、非常に売れて **800** 程度。大会やコンクールは満席になるが基本的に **1200** を埋めるということは容易でない。

委員：かつて新聞社、出版社や東北電力が著名な作家、文化人の講演を呼んだことがあった。たとえば主催事業でなくても相乗りでできるような会社がどれだけあるのか、次回以降情報提供していただきたい。

委員：東京仙台などには400～600席のホールでも、メジャーな人を呼べるホールがたくさんある。全国的でキャパが少なくてもアイデア次第で多目的に使えるホールの資料を集めてほしい。

委員：舞台芸術だけにするか多目的にするかの整理も必要。

委員長：ホールをどのように使うか、人数ほどの程度にするか話題になっているが、基本的な考え方について付け足すことはないか。

委員一同：なし

(3) 今後の進め方について

芸文主査：資料6により説明

委員：視察の際意見交換の場を設けてほしい。

(4) その他

委員長：(4)について何かあるか。

委員・事務局：特になし

7 閉会（文化主幹）